

外科

臨床研修期間(2年間)		専門医研修期間(標準3年間)					
病院名(59病院)	医療圏	基幹施設名(18病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群
横浜労災病院	横浜	北里大学病院	相模原	B	総合相模更生病院	相模原	B
昭和大学藤が丘病院					相模原協同病院	相模原	B
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院					さがみ林間病院	相模原	B
横浜旭中央総合病院					相模野病院	相模原	B
菊名記念病院					相模原赤十字病院	相模原	B
汐田総合病院					相模原病院	相模原	B
昭和大学横浜市北部病院					平塚市民病院	湘南西部	B
済生会横浜市東部病院					大和市立病院	県央	B
済生会横浜市南部病院					相模台病院	県央	B
横浜南共済病院					海老名総合病院	県央	B
横浜栄共済病院					済生会横浜市東部病院	横浜	C
横浜市立大学附属病院					けいゆう病院	横浜	C
横浜市立みなと赤十字病院					横浜旭中央総合病院	横浜	C
横浜市立大学附属市民総合医療センター					川崎市立川崎病院	川崎南部	C
横浜中央病院					関東労災病院	川崎南部	C
けいゆう病院					相模原協同病院	相模原	B
横浜医療センター					相模原病院	相模原	B
横浜市立市民病院					横須賀共済病院	横須賀・三浦	B
国際親善総合病院					横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B
戸塚共立第1病院					三浦市立病院	横須賀・三浦	B
東戸塚記念病院					横浜市立大学附属病院	横浜	C
聖隷横浜病院					済生会横浜市南部病院	横浜	C
帝京大学医学部附属溝口病院	横浜栄共済病院	横浜	C				
聖マリアンナ医科大学病院	横浜市立市民病院	横浜	C				
川崎市立多摩病院	横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C				
新百合ヶ丘総合病院	湘南鎌倉総合病院	湘南東部	B				
関東労災病院	湘南厚木病院	県央	B				
川崎市立川崎病院	大和徳洲会病院	県央	B				
医療法人社団こうかん会日本鋼管病院	湘南中央病院	湘南東部	B				
川崎協同病院	横浜市立大学附属病院	横浜	C				
川崎市立井田病院	東海大学医学部付属病院	湘南西部	B				
日本医科大学武蔵小杉病院	山近記念総合病院	県西	A				
川崎幸病院	茅ヶ崎市立病院	湘南東部	B				
相模原病院	湘南大磯病院	湘南西部	B				
北里大学病院	平塚市民病院	湘南西部	B				
相模原協同病院	大和市立病院	県央	B				
横須賀市立うわまち病院	神奈川県立がんセンター	横浜	C				
横須賀共済病院	湘南平塚下肢静脈瘤クリニック	湘南西部	B				
横須賀市立市民病院	伊勢原協同病院	湘南西部	B				
湘南鎌倉総合病院	国立病院機構神奈川病院	湘南西部	B				
大船中央病院	海老名総合病院	県央	B				
藤沢市民病院	座間総合病院	県央	B				
湘南藤沢徳洲会病院	昭和大学横浜市北部病院	横浜	C				
藤沢湘南台病院	相模原協同病院	相模原	B				
湘南東部総合病院	大船中央病院	横須賀・三浦	B				
茅ヶ崎市立病院	横浜労災病院	横浜	C				
平塚市民病院	戸塚共立第2病院	横浜	C				
平塚共済病院	横浜旭中央総合病院	横浜	C				
東海大学医学部付属病院	横浜栄共済病院	横浜	C				
伊勢原協同病院	昭和大学藤が丘病院	横浜	C				
秦野赤十字病院	済生会横浜市東部病院	湘南西部	B				
大和市立病院	横浜市立市民病院	横浜	C				
海老名総合病院	横浜医療センター	横浜	C				
厚木市立病院	相模原病院	相模原	B				
東名厚木病院	横浜市立大学附属病院	横浜	C				
湘南厚木病院	戸塚共立第2病院	横浜	C				
小田原市立病院	松島病院	横浜	C				
山近記念総合病院	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C				
神奈川県立足柄上病院	横浜市立大学附属病院	横浜	C				
	横須賀共済病院	横須賀・三浦	B				
	松島病院	横浜	C				
	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C				
	横浜市立大学附属病院	横浜	C				
	神奈川県立足柄上病院	県西	A				
	横須賀共済病院	横須賀・三浦	B				
	横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B				
	三浦市立病院	横須賀・三浦	B				
	藤沢湘南台病院	湘南東部	B				
	藤沢市民病院	湘南東部	B				
	平塚共済病院	湘南西部	B				
	秦野赤十字病院	湘南西部	B				
	横浜済済会病院	横浜	C				
	神奈川県立こども医療センター	横浜	C				
	横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C				
	汐見台病院	横浜	C				
	横浜南共済病院	横浜	C				
	横浜市立大学附属病院	横浜	C				
	神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C				
	横浜労災病院	横浜	C				
	済生会横浜市南部病院	横浜	C				
	上白根病院	横浜	C				
	神奈川県立がんセンター	横浜	C				
	横浜総合病院	横浜	C				
	横浜市立市民病院	横浜	C				
	横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C				
	横浜医療センター	横浜	C				
	川崎幸病院	川崎南部	C				
	関東労災病院	川崎南部	C				
	神奈川県立足柄上病院	県西	A				
	さがみ林間病院	相模原	B				
	横須賀共済病院	横須賀・三浦	B				
	横須賀市立市民病院	横須賀・三浦	B				
	総合病院湘南病院	横須賀・三浦	B				
	横須賀市立うわまち病院	横須賀・三浦	B				
	大船中央病院	横須賀・三浦	B				
	横浜市立大学附属病院	横浜	C				

専門医研修期間(標準3年間)					
基幹施設名(18病院)	2次医療圏	地域群	基幹・連携施設名	2次医療圏	地域群
			三浦市立病院	横須賀・三浦	B
			藤沢湘南台病院	湘南東部	B
			藤沢市民病院	湘南東部	B
			茅ヶ崎中央病院	湘南東部	B
			平塚共済病院	湘南西部	B
			秦野赤十字病院	湘南西部	B
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C
			神奈川県立こども医療センター	横浜	C
			横浜保土ヶ谷中央病院	横浜	C
			汐見台病院	横浜	C
			横浜南共済病院	横浜	C
			済生会若草病院	横浜	C
			金沢文庫病院	横浜	C
			神奈川県立循環器呼吸器病センター	横浜	C
			横浜労災病院	横浜	C
			済生会横浜市南部病院	横浜	C
			上白根病院	横浜	C
			神奈川県立がんセンター	横浜	C
			横浜総合病院	横浜	C
			横浜市立市民病院	横浜	C
			横浜市立みなと赤十字病院	横浜	C
			横浜医療センター	横浜	C
			川崎幸病院	川崎南部	C
			関東労災病院	川崎南部	C
済生会横浜市南部病院	横浜	C			
		C	横須賀共済病院	横須賀・三浦	B
			横浜市立大学附属市民総合医療センター	横浜	C
			横浜市立大学附属病院	横浜	C
			港南台病院	横浜	C
聖マリアンナ医科大学病院	川崎北部	C	相模原協同病院	相模原	B
			衣笠病院	横須賀・三浦	B
			神奈川県立こども医療センター	横浜	C
			聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院	横浜	C
			神奈川県立がんセンター	横浜	C
			横浜新緑総合病院	横浜	C
			横浜総合病院	横浜	C
			川崎市立多摩病院	川崎北部	C
川崎市立川崎病院	川崎南部	C			
	川崎南部	C	湘南東部総合病院	湘南東部	B
			川崎市立井田病院	川崎南部	C

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
県西	A	小田原市立病院	417	<p>当院は、県西地域の基幹病院として、28の診療科を備え、急性期、高度医療や救急医療を担うとともに、地域周産期母子医療センターとして小児、周産期救急、また、脳神経疾患、整形外科疾患、外科疾患などあらゆる分野の急性期疾患に対応しています。</p> <p>また、当院循環器センターでは急性冠症候群や心不全、不整脈などの心臓疾患全般だけでなく、全身の血管に関わる診断、治療を積極的に行っております。</p> <p>全国的な医師不足の中、当院でも医師の招聘に苦慮しており、今後も県西地域の基幹病院としての役割を担っていくためには一人でも多くの医師を必要としていることから神奈川県「地域枠医師」の受け入れを希望するものです。</p>	<p>当院は地域の基幹病院として非常に幅広い症例を扱っています。また、病棟連携や病診連携、診療科間の連携が密であり、「顔の見える関係」で働ける強みがあります。</p> <p>当院で地域枠医師に勤務いただき地域医療に貢献していただくとともに、当院に勤務する多くの若手医師と互いに切磋琢磨しながら一人でも多くの医師が地域医療に従事してもらえることを期待しています。</p> <p>また、当院は、多くの診療科の指定研修施設として認定を受けており、地域の基幹病院の立場から非常に幅広い症例を扱っているため、多くの若手医師を積極的に受け入れて地域医療に貢献できる医師の育成に力を入れているとともに、診療科間の連携も密に行われていることから診療しやすい勤務環境が整っており、ダビングや遠隔医療システムなど、先進的な医療機器の導入も積極的に行っています。</p>
県西	A	医療法人 小林病院	163	<p>将来の医師の育成に貢献することにより地域医療の充実の一助となるよう努めたく、この度の受入を希望させていただきます。</p>	<p>「人に優しく」をスローガンに、多職種協働によるシームレスな医療を提供しております。また、職員一人ひとりの幸福の追求と働きやすい職場づくりに努めております。</p>
県西	A	神奈川県立足柄上病院	296	<p>県西医療圏は県内でもより早期に高齢化・人口減少が起きているが、医療需要は幅広くあり、特に救急医療の維持には人員が必要であるため。</p>	<p>generalな力を持った総合診療の良い指導医がおり、横浜市大との連携で専務年限終了後に関してもキャリア継続が可能。新型コロナウイルス対策では、県の重点医療機関として流行の初期より患者を受け入れるなど、県の医療体制維持に貢献している。</p>
県西	A	山近記念総合病院	152	<p>県政地区の総合病院として、臨床初期研修、東海大学医学部外科の専攻医の受け入れを行い教育機関としての業務を担っているが、専門医取得後の医師の育成にも社会的意義を感じたため</p>	<p>外科:消化器外科に加え、乳腺外科にも取り組み症例数も多い。</p>
相模原	B	北里大学病院	1140	<p>○ 若い先生方の教育を担っている大学病院として、地域に貢献できる医師を育成することで、相模原地区の医療水準を維持し、患者様に十分な医療を提供したいため、受け入れを希望します。(外科)</p> <p>○ 当科の人員不足もあり、即戦力として多くのことを経験し、地域医療を担う医師の育成に貢献できる環境が整っていると考えるため。(呼吸器外科)</p>	<p>○ 腹腔鏡下手術の件数は県内でも有数であり、ロボット手術も積極的に導入しています。外科医としての基礎ならびに最先端手術の知識・技術を提供できる環境です。(外科)</p> <p>○ 当院では肺悪性腫瘍、縦隔腫瘍、炎症性疾患、外傷など相模原地域の患者さんを広く受け入れており、幅広く疾患を経験できる。また、当科の人員も少なく、多くの手術に参加し手技を経験できるほか、病棟での処置等も上級医の指導のもとで数多く学ぶことができる。(呼吸器外科)</p>
相模原	B	独立行政法人 国立病院機構 相模原病院	458	<p>当院の目標の一つは『救急患者の要請は受け入れていくことを原則とし、断らない医療を目指し地域医療に貢献していく』であり、救急医療を中心に地域に根差した医療を行っている当院と地域枠の目的である地域医療に貢献する医師の育成に合致しているため受け入れを希望した。</p>	<p>【外科】相模原市の中央に位置しており、年間800件前後の手術を施行しています。消化器領域の悪性疾患は大腸癌を中心に食道癌、胃癌、肝癌、乳癌など、良性疾患では鼠径ヘルニア、胆嚢結石症、急性虫垂炎、急性腹症(穿孔、腸閉塞)の手術を中心に施行しています。また、消化器領域手術の約8割が腹腔鏡下手術を行っていることが特徴のひとつです。腹腔鏡下手術は現在5人の内視鏡外科技術認定医が指導を行っており、技術認定医取得希望の外科医師には充実した研修が行えます。ロボット支援手術は直腸癌、胃癌で導入され、今後も適応拡大予定です。学会発表、論文投稿も積極的に進んでおり、幅広くバランスのとれた研修が行える環境を整えています。</p>
相模原	B	相模原赤十字病院附属相模原市立藤野診療所	-	<p>相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。</p>	<p>訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験</p>
相模原	B	相模原赤十字病院附属相模原市立青野原診療所	-	<p>相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。</p>	<p>訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験</p>
相模原	B	相模原赤十字病院附属相模原市立千木良診療所	-	<p>相模原市の西部に位置し、旧津久井郡での力を注いでいるが、医師不足により目指すところの、安全、安心な地域医療が滞っている状況となっているため。</p>	<p>訪問診療、超高齢化に対する地域医療の経験</p>
横須賀・三浦	B	三浦市立病院	136	<p>横須賀・三浦の医療圏において医師確保がなされているのは、大学医局からの派遣を受け入れている中核病院に限られています。地域医療の要である地域密着型の中小病院が地域医療を守るためには医師の確保が必要です。</p>	<p>「三浦ならではの」地域医療を進めている当院では本物の地域医療を学ぶ場としての環境が整っています。</p> <p>また、地域の中核病院や大学からの専門医派遣により専門外来(循環器、呼吸器、神内、消化器、糖尿病、脳外、耳鼻いんこう科、泌尿器科、皮膚科など)を開いており、院内で相談指導を受けられる体制もなっています。</p> <p>ぜひ、地域医療に関心のある医師をお待ちしています。</p>
横須賀・三浦	B	横須賀市立市民病院	482	<p>各診療科の医師数は十分とは言えず、診療科によっては入院制限や緊急時の手術制限をする場合もある。二次保健医療圏の医師数の状況を踏まえても、更なる医師の確保が必要である。</p>	<p>派遣された医師が、臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した診療ができ、地域医療に貢献できるよう配慮していきます。</p>
横須賀・三浦	B	公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立うまわら病院	417	<p>症例が豊富であり、指導医も多数在籍していることから、地域枠医師の修練に適切であるため、受け入れを希望いたします。</p>	<p>三浦半島80万人医療圏の中核的な病院です。救急車台数も年間約6000台であり、2次、3次に特化した総合病院であるため、症例が豊富であり、それを支える指導医も豊富です。派遣された医師が臨床・研究・教育の能力を発揮し、充実した仕事ができ、社会に役立てるように配慮していきます。</p>
横須賀・三浦	B	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	740	<p>教育体制が整っている。未来に向けてたがしいレベルの医師を育てたいと思っています。</p>	<p>外科:外科手術症例が多岐でいろいろな手術を経験できる。緊急症例にも対応している。</p>
横須賀・三浦	B	医療法人横濱柏堤病院 よこすか浦賀病院	99	—	—
横須賀・三浦	B	医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院	669	<p>神奈川県西の医療を継続して担う人材を確保・育成したい為。</p>	<p>超急性期病院として24時間、365日すべての救急車収容要請を受け入れるを実践しており、豊富な臨床経験を積むことが出来ます。現在当院では、がん診療はもとより、世界的に新しいカテーテル、ロボット手術、心臓手術、内視鏡的外科手術、トモセラピー、陽子線といった高精度放射線治療、さらには臓器移植、再生医療など次世代の新しい治療を提供できる病院として運営しております。</p>

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
湘南東部	B	医療法人社団若林会 湘南中央病院	199	地域医療を希望する医師の確保	当院は回復期リハビリテーション病棟、急性期病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟、緩和ケア病棟を有し、院内には在宅診療科、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を併設しており地域医療を実践しています。後方支援として同法人設立の介護老人保健施設もあります。また、県、市からの要請により地域の医療確保に向け万全の体制で臨む医療機関です。
湘南東部	B	一般財団法人同友会 藤沢湘南台病院	330	地域医療へ質の高い医療の提供を継続して行い、若手医師を育成して神奈川県を安心安全に貢献する為。	手技検査など指導のもと、専攻医には主治医として多くの経験と治療計画の決定をして頂きます。コンサルタントがしやすい環境でありますので、医師、看護師、医療技術者との連携がスムーズに行えます。
湘南東部	B	医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院	419	神奈川県湘南東部地域の地域医療を支える当院救急や感染症チーム、およびそのバックアップとしての臨床はもちろん、県下での臨床教育に意欲のある若手医師の採用を積極的に行いたい。層の厚い当院の屋根瓦式教育は、次世代の地域医療を担っていく若手～中堅医師のニーズに沿った良質な研修/指導環境が提供できていると自負している。	当院では日常遭遇する疾病と障害等に対して適切な初期対応と必要に応じた継続的な診療を全人的に提供するとともに、地域のニーズを踏まえた疾病の予防、介護、看とりなど保健・医療・介護・福祉活動に取り組み絶えざる自己研鑽を重ねながら、地域で生活する医師を生活する人々の命と健康に関わる幅広い問題について適切に対応する医師を育成します。また辻堂駅すぐの立地で、敷地内には職員専用の保育園があります。
湘南西部	B	東海大学医学部付属病院	804	本院が属する神奈川県西部地域は県内でも相対的に医師不足地域であり、将来に渡り、地域医療に貢献する医師の育成と確保を図るため。	特定機能病院として高度医療を提供すると共に、神奈川県ドクターヘリを運用する高度救命救急センターを併設しています。また、総合周産期母子医療センターや造血幹細胞移植地域拠点病院、地域がん診療連携拠点病院として、専門的治療を行っています。
湘南西部	B	秦野赤十字病院	320	定員医師数が不足し受入れを希望します。	日本赤十字社の使命の一つである災害医療は、今後も予期せぬ災害において被災地での迅速な活動と当院の地域で災害が生じた際には当院が災害拠点病院として医療活動が行えるよう準備を行っています。通常の診療では2023年血管造影室が1部屋増設され、脳神経外科や循環器内科などでの血管治療がより遅滞なく可能となりました。当院泌尿器科および外科で2024年に手術を支援するロボットを用いた手術を行い、今後も安全で高度な医療を行う所存です。その他消化器内科、脳神経内科、腎臓内科、整形外科、小児科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、麻酔科、救急科、放射線科は常勤の専門医が診療いたします。代謝内分分泌科、産婦人科、心臓血管外科医、形成外科、呼吸器内科は外来のみの診療ですが、当院は2023年地域医療支援病院に認定され、今後も引き続き秦野近隣の様々な医療機関と連携して地域医療を支える病院として診療を行います。各診療科の概要・特徴につきましては、当院ホームページをご覧くださいませようお願いいたします。
県央	B	社会医療法人ジャパメディカルライオン 海老名総合病院	479	当院は、昭和58年地域の皆様に誘致頂く形で海老名市に開院致しました。これまで神奈川県県央地域の中核的医療機関として地域に医療提供を行って参りました。従来以上に医療を通じた地域貢献を果たしていく為にも受入れを希望しております。	当院は、神奈川県海老名市に加え、座間市、綾瀬市を含む県央地域約34万人の診療圏を有する急性期中核病院です。平成29年には県央地域初の救命救急センターを開院し、更なる高度急性期医療を提供できるよう日々取り組んでおります。各診療科において専門性の高い医師が多く在籍しておりますので、数多くの様々な症例を積む事が可能です。
県央	B	社会医療法人ジャパメディカルライオン 座間総合病院	352	当院は、座間市の「救急医療の立て直し」という使命の下、市内で3施設目の2次救急病院として平成28年4月にオープン致しました。若い先生方と共に、更なる救急医療の強化を図り、地域貢献して参りたいと考えております。	当院は、グループ施設の海老名総合病院の臨床研修医の受入も行っており、研修医からは「一医師として診療にあたる事ができ、やりがいを感じる」とどの科においてもその様な感想を得ております。経験に関係なく、先生方の力を遺憾なく発揮頂ける環境を整えております。
県央	B	湘南厚木病院	253	十分な症例数があり、指導体制も整っているため	地域の急性期総合病院として、専門性・緊急性の高い疾患はもちろんのこと、Common diseaseまで幅広い疾患を数多く経験することができる。
横浜	C	昭和大学横浜市北部病院	689	—	—
横浜	C	昭和大学藤が丘病院	584	当院は1975年の開院から40年以上が経過し、耐震化や医療の高度化に向けて再整備計画をすすめています。再整備にあたっては、2018年10月に昭和大学、横浜市、東急電鉄の三者で「藤が丘駅周辺の新たなまちづくりの推進に関する協定」を締結し、駅前施設・公園・病院が一体となったまちづくりに取り組むことになりました。そのような状況下で今後ますます当院に対する期待が高まる事が予想され、その期待に応えるためにもより多くの優れた医師を養成したいと考えているからです。	当院は大学附属病院としての高度な医療水準を保ちつつ、急性期医療から難病、リハビリテーションまで様々な疾患を多数診療しています。そのため多彩な症例を数多く経験することができます。大学病院でありながらも各診療科間・各部門間の垣根が低く、コミュニケーションがとりやすい環境の中で患者さん中心のチーム医療を実践しています。
横浜	C	済生会横浜市東部病院	562	—	—
横浜	C	菊名記念病院	218	医師不足のため受入を要望する。	初期臨床研修病院のため、各診療科において、教育・指導体制が充実している。地域医療支援病院として、近隣医療機関との連携を通し地域医療に貢献できる。
横浜	C	横浜国立大学附属市民総合医療センター	726	—	—
横浜	C	横浜市立市民病院	650	2020年5月に新病院が開院するにあたり、多くの診療科で医師の増員を希望しています。また、地域枠の先生は定着率が高いと伺っており当院で意欲的に勤務していただけることを期待しています。	当院は横浜市の基幹施設として急性期医療に積極的に取り組むとともに、救命救急センター、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、第一種感染症指定医療機関、国の地域周産期母子医療センター、そして2019年4月からはがんゲノム医療連携病院に指定されているなど、日常よく遭遇するcommon diseaseから高度な医療を必要とする重症患者や難治性疾患まで十分な経験を積むことができます。また各分野の専門医にコンサルテーションができ、直接の指導を受けることが出来ます。2020年5月には新病院が開院しますので、やる気のある先生方をお待ちしています。ぜひ一緒に新病院で頑張りましょう。

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
横浜	C	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜保土ヶ谷中央病院	236	当院は令和2年4月に地域医療支援病院として承認され、年間3,000件以上の救急の受け入れを行っています。また、JOHO版病院総合医育成プログラム等、総合診療科が精力的に診療を行っており、その他消化器内科、循環器内科、糖尿病内科、腎臓内科、外科において若手医師の活躍が期待されます。	当院は、横浜市二次救急医療に携わる病床数236床の急性期病院です。昭和30年の開設で、平成26年に独立行政法人地域医療機能推進機構横浜保土ヶ谷中央病院となりました。保土ヶ谷区の中心的病院として医療を提供しており、急性期としてHCU8床・手術室5室・透析23床を備え、内科・外科・整形外科に加え泌尿器科眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科など、多数の診療科で質の高い医療を行っています。また、地域包括ケア病棟(31床)、訪問看護ステーションを併設しています。
横浜	C	社会福祉法人 親善福祉協会 国際親善総合病院	287	外科、内科、泌尿器科、整形外科、眼科には既に大学人事での専攻医が所属し、他の診療科にも指導体制が整備されているが、いずれの診療科も医師不足である。	横浜市2次救急拠点病院Aとして年間5,000件以上の救急搬送を受け入れ、地域の中核病院として多くのcommon diseaseに対応している。産科では無痛分娩を積極的にに行ない、分娩数の約半数を占めている。緩和ケア病棟を備え、診断から緩和までチームレスながん医療を展開している。泌尿器科、外科、婦人科ではロボット支援手術を積極的に行なっている。
横浜	C	神奈川県立がんセンター	415	—	—
横浜	C	一般財団法人神奈川県警友会 けいゆう病院	410	大学派遣も厳しい状況であり、リクルート活動の一環として受入れたい。	内科、外科、産婦人科、どの診療科においても、広く症例経験することが可能である。
横浜	C	公立大学法人 横浜国立大学附属病院	674	—	女性医師支援をはじめ、働きやすい環境づくりのための各診療科会議の運用や各種制度の周知などを行っています。
横浜	C	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院	565	—	小児科：一般診療科から専門診療、新生児・周産期医療まで幅広く研修が可能です。小児救急も行っています。しっかり勉強する時間も作れます。デメリットとして、当院は小児研修修幹施設ではないので、後期研修施設として小児科専門医を取得するためのキャリアアップにはなりません。
横浜	C	独立行政法人地域医療機能推進機構 横浜中央病院	250	独立行政法人地域医療機能推進機構の病院として地域に従事する医師を育成するとともに地域住民の診療を支える使命がある。また、特に腎臓内科医、糖尿病内科医、消化器・肝臓内科医、麻酔科医、外科医については深刻な人員不足である。	当院に所属する各学会の指導医・専門医のもとで地域医療における多岐にわたる症例を経験することが出来る。特に内科は各内科系診療科を複数有し、より専門性の高い診療を実践することが出来る。外科においては手術・手技・周術期管理を学ぶことが出来、化学療法、栄養管理、緩和ケアの基本を学び、幅の広い診療を経験することが出来る。麻酔科においては神経ブロックに力を入れており症例数も豊富であり、十分な経験を積むことができる。
横浜	C	医療法人裕徳会 港南台病院	84	84床の急性期に加え、令和3年5月に120床の地域包括ケア病院を開設しました。地域の中で入院診療、訪問診療、介護などの従来からの個別課題解決だけでなく、ネットワーク構築、地域課題発見、地域づくりや新たな資源開発、さらには政策提案などの様々な実務を実践していくうえで柔軟な思考、活動ができ、新たなことにチャレンジできる若い力を必要としています。	法人内に急性期病院、地域包括ケア病院、介護老健、有料老人ホーム、グループホーム、訪問看護ステーションがあり、都市型の地域医療を実践していくうえで、当法人ならではのユニークな経験を積むことができます。経験と指導能力に富む内科医師、外科医師に加え特に済生会横浜市南部病院と連携しながら診療を行っており、日本外科学会関連施設でもあることから、外科専門医制度と関連付けた修練を積むことも可能です。キャリアの早い段階にこのような包括的な経験を積むことは、これからの新たな地域医療を実践する若手医師の成長に大きく寄与できるものと考えます。
横浜	C	横浜被済会病院	151	当院は、2024年に移転新築を計画しており、より一層地域社会の一員として地域の医療に責任を持つ医療機関としての役割を自覚し、今後さらなる医療提供体制の充実を目指している為、地域枠医師の受入れを積極的に行います。	当院は1896年(明治29年)創立の歴史のある病院です。元来は船員の方の為の病院でしたが、現在は地域の住民の皆様の医療の充実及び健康の増進に尽力し、社会福祉面でも貢献しています。これからの、地域包括ケアシステム(医療と介護の連携)に積極的に取り組んでいます。特に消化器内科・血液内科・呼吸器内科及び消化器外科志望の医師が最適である。
横浜	C	社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市南部病院	500	当院は横浜市大関連施設であるため、専門研修ローテーションを含め、医師の赴任離任は大学人事に依り行われているためです。	当院は指導体制も含め各診療科は横浜市大各教室と連携を密にしております。このことからとくに、指導医が複数いる診療科ではサブスペシャリティの指導体制も充実しております。
横浜	C	医療法人裕徳会 よこま港南台地域包括ケア病院	120	外来・入院・訪問の各診療への医師人材活用と育成を通じた地域医療への貢献	開院来45年となる港南台病院とともに地域に密着した切れ目のない医療を提供しています。法人内に急性期病院、介護老健、有老ホーム、グループホーム、訪看ステーションを有しており、訪問診療も積極的に行っております。法人内外での連携を通じ、患者・家族に寄り添った医療を提供しております。
川崎北部	C	医療法人社団三成会 新百合ヶ丘総合病院	563	希望する診療科それぞれにおいて人員体制を強化し、診療体制を充実させ、その中で若手医師を育成し、神奈川県内の地域医療に貢献したいと考えています。	「地域医療への貢献」、「高度先端医療の実践」、「最良の安心を得られる医療」を目標に掲げ、救急患者を積極的に受け入れており、様々な救急疾患に対応できる能力を養うことができます。また最先端の医療機器を備え、高度な先進医療や予防医学を実践し、がん診療にも貢献しています。常勤医師210名超体制のもと、研修体制が充実しており、働き方改革に沿った勤務ができます。
川崎南部	C	川崎医療生活協同組合 川崎協同病院	267	神奈川県内への医師定着を促進させるため、受入を希望いたします。希望した4科は指導医体制も整っており、専攻医を受け入れる条件が整っています。また、専攻医を受け入れることで、各科が活性化し、レベルアップできるきっかけになればと思い受入を希望いたしました。	当院は地域に根差した医療を提供しており、豊富なコンモンディーズを経験することができます。外来から入院、退院後の在宅医療まで、一人の患者さんを通して診ることができるのも当院の研修の魅力です。また病気を診るだけでなく、社会背景にも目を向けて、一緒に問題を解決し健康づくりに取り組むことを大切にしています。

地域実践標準4年(専門研修を希望しない場合は7年間)					
医療圏2	地域群	医療機関名	病床数	受入希望理由(病院説明事項)	キャリア形成に係るメリット(病院説明事項)
川崎南部	C	川崎市立川崎病院	713	二次医療圏としては、川崎は南部と北部の二つの医療圏があるが、患者の実態としては南部(川崎区・幸区)、中部(中原区・高津区)、北部(その他三区)に分かれており、二次医療圏としての南部は中原区の二大病院によって対人口比で全国平均を超えている。当院のある川崎区は必ずしも十分な医師がいるわけではない(無論県西部に比して多いと思われるが)。またJRより海側の横浜市鶴見区も当院のカバーエリアであり、こちらも決して医師が充足しているわけではない。そうした立地の中で拠点病院として診療を行う上で、現状の人員では必ずしも充足しているとはいえないので今回希望した。	伝統的に一内科制をとることで、診療の垣根を越えて一人の患者に複数の専門家の助言を受けて診療することになる。結果として視野の広い医師の育成に務めている。また多くのサブスペシャリティの教育研修機関として学会の認定を受けている。
川崎南部	C	医療法人社団和光会 総合川崎臨港病院	199	人材の確保 地域に根づいた診療を行う上で、実情を理解した医師を採用したい。	医師のQOLを優先しており、ご自身の希望に沿った勤務が可能となるよう条件提示しております。
川崎南部	C	医療法人社団清恵会 田村外科 病院	33	県医師会理事として、地域枠医師の実態を知るため	地域密着型の「かかりつけ医」とは、どんな姿なのかを知っていただく良い機会になると思います。